

【2025年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等		
保健医療と福祉		選択	2	3	前期		
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー			
平井 大貴	講師控室	kyoumu		授業前後質問を受付			
授業の目的・概要		<p>〈目的〉医療、保健、福祉の関連性を理解し、医療、保健の専門家と協働して、高齢者や障害者、子どもなどの福祉の増進につながる支援を行うための知識や態度、技術を深める。</p> <p>〈概要〉医療、保健の専門家と協働して、福祉支援を行う際の理解や、身体的、精神的、社会的な問題や困難に対する支援方法について講義する。さらに、事前学習により地域保健、医療の現状や制度、法律、規制、医療と福祉の連携について理解した内容を深められるようグループワークを行う。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク		
学習上の助言	保健医療と福祉に対して教科書の内容を精読するだけではなく、ソーシャルワーカーの価値規範・構造等の背景にも着目をして疑問・関心を持ったことについて主体的に探究することにより理解を深めることができ望ましい。						
教科書	最新 社会福祉士養成講座 5 保健医療と福祉 第2版/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版						
参考書	なし						
外部教材	なし						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針			
①	医療福祉の対象者の実態について、社会情勢等との関連から説明できる。			HC(1)、(2)、(3)			
②	医療福祉の歴史と理念について説明できる。			HC(1)、(2)、(5)			
③	医療機関を取り巻く制度の概要について説明できる。			HC(1)、(2)、(3)			
④	医療福祉の対象者を取り巻く関連諸制度について説明できる。			HC(1)、(2)、(3)			
⑤	医療福祉におけるソーシャルワーク専門職の役割について説明できる。			HC(1)、(2)、(4)			
授業計画							
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)				
1	オリエンテーション(本科目の意義、受講時の約束、講義の進め方、成績評価、他)を行う	講義	シラバスを精読する。 今後の学びについて確認する。				
2	保健医療の課題を持つ人の理解	講義 グループワーク	第1章 第1節～第3節を精読する。 事前課題に取り組む。				
3	医療倫理	講義 グループワーク	第2章 第1節～第2節を精読する。 事前課題に取り組む。				
4	保健医療の動向	講義 グループワーク	第3章 第1節～第3節を精読する。 事前課題に取り組む。				
5	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識①	講義 グループワーク	第4章 第1節～第2節を精読する。 事前課題に取り組む。				
6	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識②	講義 グループワーク	第4章 第3節～第4節を精読する。 事前課題に取り組む。				
7	保健医療領域における専門職の役割と連携①	講義 グループワーク	第5章 第1節～第2節を精読する。 事前課題に取り組む。				
8	保健医療領域における専門職の役割と連携②	講義 グループワーク	第5章 第3節を精読する。 事前課題に取り組む。				
9	保健医療領域における支援の実際①	講義 グループワーク	第6章 第1節を精読する。 事前課題に取り組む。				
10	保健医療領域における支援の実際②	講義 グループワーク	第6章 第2節事例1、2を精読する。 事前課題に取り組む。				
11	保健医療領域における支援の実際③	講義 グループワーク	第6章 第2節事例3を精読する。 事前課題に取り組む。				
12	保健医療領域における支援の実際④	講義 グループワーク	第6章 第2節事例4を精読する。 事前課題に取り組む。				
13	保健医療領域における支援の実際⑤	講義 グループワーク	第6章 第2節事例5、6を精読する。 事前課題に取り組む。				
14	保健医療領域における支援の実際⑥	講義 グループワーク	第6章 第2節事例7を精読する。 事前課題に取り組む。				
15	保健医療領域における支援の実際⑦	講義 グループワーク	第6章 第2節事例8、9を精読する。				
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				6		

【2025年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		58	28	0	0	14	100
総合力指標	知識・技術力	38	0	0	0	0	38
	思考・推論・創造する力	10	28	0	0	5	43
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	4	4
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	① ✓	講義で学んだ知識を確認する。 試験範囲は、講義で用いた教科書、配布プリント及び資料から出題をする。講義内容の予習と復習を行い、知識を定着させすることが必要となる。 ・試験方式（筆記試験） ・A4 サイズ 1枚分のノートの持ち込みを許可する。				試験解答例を Teams へ提示する。	
	② ✓						
	③ ✓						
	④ ✓						
	⑤ ✓						
	⑥						
レポート	① ✓	授業内容の理解を深めるために、事前課題を毎回課し、授業終了時に提出をする。課題への取り組み内容において評価を行う。 1 課題につき 2 点満点とし、課題に対する考察や疑問を記載すること。教科書の丸写しのみの場合は、0 点とする。				提出された課題は次回授業時までに採点をする。	
	② ✓						
	③ ✓						
	④ ✓						
	⑤ ✓						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	① ✓	毎回の授業において、リアクションペーパーに授業で学び得たことや、感想、質問等の要約を記載して提出をする。内容から講義内容の理解や積極性について確認と評価を行う。					
	② ✓						
	③ ✓						
	④ ✓						
	⑤ ✓						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士として介護老人保健施設支援相談員、回復期リハビリテーション病院における医療ソーシャルワーカー、成年後見人の受任などを通じて 10 年以上の実践経験を有する。						
実践的授業の内容	シラバスの内容に沿って、教科書を中心とした授業を行う。教員が実践の中で得た知見を交えて科目内容を、出来るだけ分かりやすく学ぶことができるよう学習を進める。						
そ の 他	・社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・本科目は、登校型授業となるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器の使用は原則禁止する。 ・授業態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退席をしてもらう。						